

文化力の旅 旅鶴プラン300

旅をした謙信のころ(1)

出羽、陸奥を治める120万石の大大名だった上杉家は、関が原の戦の後、30万石となり会津から米沢へと移封される。海拔1094mの檜原峠をともに越え従った家臣は、領内で河川改良や新田開発に従事する。質と実なる美。明日の混沌を転換し、不可能を可能にしたものが今も米沢には残される。

この季節のご紹介は、
特にございません。

法音寺は真言宗(豊山派)の寺院で、山号は八海山。もとは越後国南魚沼郡の八海山の麓にあって、上杉家の移封に伴って越後から会津そして米沢城二の丸に移り歴代藩主の菩提寺となる。泥足毘沙門天尊は越後春日山城本丸北側にあった毘沙門堂の本尊で謙信が最も崇拝し日々祈りを込めた仏像。武将の名門、上杉家の歴史を今に伝える。



(左)上杉家御霊所 写真提供:法音寺 (右)泥足毘沙門天尊 写真提供:法音寺



法音寺
山形県米沢市御廟一丁目5番32号
TEL:0238-22-2095
宝物展10月10日まで
(開)9:00-16:00
(料)大人200円、大高生150円、小中生無料

この季節催事情報特にございません。

旅鶴倶楽部
会員特典

この季節のご案内は特にございません。



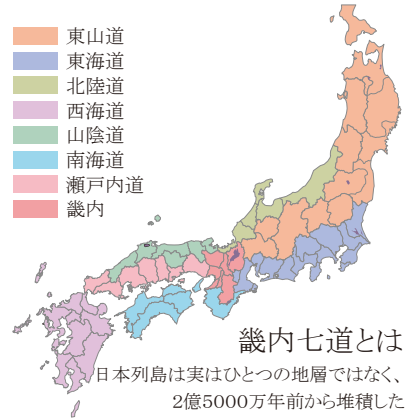
螢 写真提供:小野川温泉観光協議会

この季節のご紹介は、
特にございません。

小野川温泉「ホタルの里」。古くから神の山と信仰された飯富山から流れ、山形県の最上川の源流のひとつ鬼面川につながる小野川沿いにある。自然発生するゲンジボタル・ヘイケボタル・ヒメボタルの三種類が鑑賞できる稀な池で小野川の名は出羽郡司の娘といわれる歌人小野小町に由来。乱舞する螢の輝きは、また王朝浪漫を漂わせる。

この季節催事情報特にございません。

(問合せ)小野川温泉観光協議会
TEL:238-32-2111



畿内七道とは

日本列島は実はひとつの地層ではなく、2億5000万年前から堆積した陸や海の地層が北や南、西や東から集まりかさなりあって出来ている。1300年前大和政権が律令国家となり、その日本の成り立ちにそって各地方を区分したのが畿内七道だった。

旅鶴倶楽部
会員特典

この季節のご案内は特にございません。

つながりあう日本三十六景畿内七道の文化施設をご紹介します

東山道

大崎八幡宮

宮城県仙台市青葉区
八幡4-6-1
社務所 ☎022-234-3606

節分祭
平成24年2月3日(金)

冬と春との季節の分かれ目に行われるこの節分祭には、除疫・招福が祈願されます。追儺(ついな)の行事の外、年男男女・戌歳支歳生まれの方々の厄除祈願が行われる。



社殿 写真提供:大崎八幡宮

東山道

山寺立石寺

山形市大字山寺4456-1
☎023-695-2843

節分会法要
平成24年2月3日(金)
14:00~

正しくは宝珠山立石寺。860(貞観2)年清和天皇の勅願のよって慈覚大師が開いた天台宗のお山。毎年節分には般若心経を365回読んでお祈りし、一年の無病息災を願う。



納経堂 写真提供:山形市観光協会



御吉祥大辨財天御妃尊像図
棟方志功 1966年 青森県立美術館蔵

混沌に秩序と調和、棟方の力強い意思

志功が描く倭画に漲(みなぎ)る活力は青森の自然とまたつながる。志功は、ゴッホを敬し独学で油絵画家を目指すも苦戦、江戸時代に世界から称賛を浴びた版画こそが自らの世界を築けるものと開眼。その受け継がれし美は、一面の雪景色のごとき静寂の中で溢れる生命力を放つ。縄文集落、三内丸山遺跡に隣接し、青森の風土が育んだ個性豊かな芸術を紹介する青森県立美術館。

青森県立美術館

青森市安田字近野185 TEL:017-783-3000
(開)10/1~5/31(9:30-17:00(入館は16:30まで))
(休)毎月第2、第4月曜(祝日の場合はその翌日)
(料)常設展 一般500円

東山道

米沢市上杉博物館

山形県米沢市丸の内1-2-1 ☎0238-26-8001

開館10周年記念特別展
「よみがえる赤羽刀-米沢ゆかりの刀剣-」
平成24年1月28日(土)~3月4日(日)

太平洋戦争後、赤羽の米兵器補給廠に集積の刀剣のうち37口の譲与を受け、修復後の20口のお披露目。館蔵の刀剣、古文書を加え、米沢の刀鍛冶系譜を辿り新々刀の歴史を紹介。



赤羽刀 銘:綱俊是俊 所蔵・写真提供:上杉博物館



旅鶴倶楽部 責任編集「旅鶴プラン300」

スタイルカフェ・ドット・ネット

〒541-0053大阪市中央区本町2-5-7 大阪丸紅ビル1F TEL:06-6264-7140

今回ご紹介する文化施設の催事につきましては、東日本大震災の影響で一部に変更する可能性もございます。最新の情報は、右のサイトでご確認を!



東日本大震災 文化施設応援サイト

災害者の課題でも、文化として歴史を守っているひとがいる。こころをかきわて、がんばり日本!

協力:日光山輪王寺 鶴岡光弘頂齋茶室 (江戸時代・17世紀)

旅鶴 応援 検索

平成23年4月15日開設